

生、大学教授などの教官であったが、第5回はより幅広くオホーツク圏全域の医療関係者や北見工業大学、東京農業大学、日本赤十字北海道看護大学などからも多くの参加を募る予定である。

3. 第5回北見学術市民フォーラム

(平成23年7月8日：ホテルベルクラシック北見)

新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター・センター長の中田力教授をお招きして、講演していただいた。

中田力先生のご略歴

中田先生は、1950年東京の生まれで、高校まで学習院で学ばれ、1976年東京大学理科三類をご卒業され、学生時代から医学のみならず、理学、工学、科学に精通されていた。1978年渡米され、その後、カリフォルニア大学の助教授、准教授をされ、1992年にはカリフォルニア大学神経学の教授に就任された。1996年には文部省学術審査会により中核的研究拠点(COE)形成のプロジェクト・リーダーに選出され、研究拠点を日本に移籍された。2002年、新潟大学脳研究所に統合脳機能研究センターを設立、センター長に就任され、日本学術会議会員も努める。長年にわたりアメリカの医療現場に立ち、卒後臨床研修の責任者(program doctor)を15年間務めた経験をお持ちで、超一流の臨床家であり、超一流の研究者でもある。脳の機能を非侵襲的にMRIで検出するファンクショナルMRIの世界的権威でもあり、複雑系科学の専門家としても知られている。さらに近年、神経科学の第一人者として“ノーベル賞に最も近い日本の研究者22人”の一人に選ばれた。

1) 開会と演者の紹介：

道東脳神経外科病院 院長 木村輝雄

2) 主催者挨拶：北見医師会 会長 古屋聖児

3) 座長：

介護老人保健施設緑風 施設長 藤井一男

演題は“原点の民(医師は犬にならなければならない)”と題し、副題についてご本人はお話されなかったが、“日本は、民のよい国家である。医療は国の根底をなすものである。従って、医療が崩れた時、その国も滅びる”その視点に立ち、ヒトの誕生からさらに戦後われわれが忘れてしまった、否、＜論ずること・考えることを停止されてきた日本国の成立の歴史＞まで具体的にひもといってお話しいただいた。

ご講演の最後に、中田先生が尊敬する人の話をして、われわれの目標にしたいとお話された。「ヨーロッパではコペルニクス。空を覗ただけでどうして地球が回っていると分かったのか？あの時代で。東洋では諸葛亮孔明。彼は軍人ではなく、科学者であり、民のためにたくさんのもをを残した。そして、子孫には“もし、良い政治家にならなければ、せめて良き医者になれ”と遺し、子らもそれを守った。民を守るのは、政治ができなかったらわれわれ医師である。もうそれしかない。医療の原点はすべて現場である。もう中央には難しいかもしれない。民を守っていれば再生できる。今こそ臨床医が現場で民を守る時代である」と結んだ。今回のご講演は、昨年日本医事新報社に全15回掲載されていた中田先生のエッセイ集“穆如清風(ぼくじょせいふう)”に一部あるので、ご一読頂ければ共感できると思われる。

会場にいたわれわれは、中田先生のご講演から元氣と誇りをいただき、感謝申し上げた。

北海道医師会サポートセンターのご利用について

◇情報広報部◇

北海道医師会サポートセンターでは、本会提供のメールアドレスに関するご相談だけでなく、パソコン操作やインターネット利用に関する質問対応も承っております。日頃のパソコン利用におけるちょっとした疑問点やトラブル対応の第一相談窓口として、お気軽にご利用ください。

お問い合わせ例

パソコンをMacに変えたら使い方がよくわからない・・・ご利用方法をご案内
プロジェクターでパソコンの映像を映したい・・・ご利用方法をご案内
光電話ってどうしたら使えるの・・・光電話についてご案内、取次ぎも可能
エクセルの使い方がよくわからない・・・一般的な使い方であればご案内可能
サポートに来てほしい・・・駆けつけ業者を手配します(有料となります)

お問い合わせ先：北海道医師会サポートセンター(平日 10:00～12:00、13:00～17:00)

○TEL： 011-738-3401

○E-mail： support@hokkaido.med.or.jp